



## はじめに



松川町長 北沢 秀公

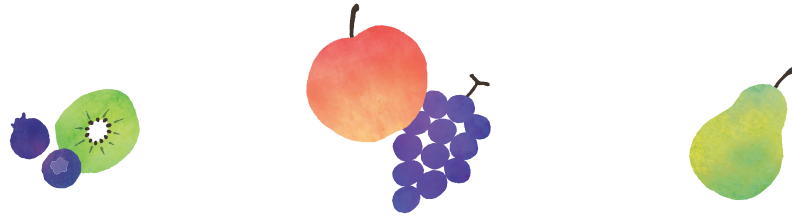
松川町には、この地域を愛し、自ら動き、様々な活動や地域づくりをしている住民の皆さんがたくさんいます。私は日頃から「こんなに面白い人たちがいるなら、きっともっと良い町になるはずだ」と思ってきましたし、これからもそうだと信じています。また、中央アルプスと南アルプスの眺望や彩り溢れる果樹園の風景は、ここに住む私たちに居心地の良さを与えてくれています。

このたび策定した第6次松川町総合計画は、こうした町の「良さ」を再認識し、それらを「強み」として持続可能な地域づくりに繋げていこうという思いが出発点になっています。一方で、「強み」を伸ばすためには、その対にある「弱点」や「課題」にも真剣に向き合う必要もあります。本計画の策定にあたっては、これらを含め松川町の置かれている現状を的確に把握するため、全国的にも先進的な事例となる「ウェルビーイング指標」を活用した町民意向調査を実施しました。

「ウェルビーイング」とは、私たちが普段の生活において幸せを実感することで、その概念を取り入れた「ウェルビーイング指標」は、「住民一人ひとりが日々の暮らしの中でどれだけ幸せを実感しているか」をデータとして可視化するものです。本計画は、地域の幸福度を測りながら、住民の皆さまと役場の職員が「一人ひとりの幸せの実感」に結びつく取組のアイデアを出し合い、議論を重ねて策定したものになります。

町では、この計画を今後4年間の町政運営の基本として、まちづくりの将来像「いっしょに育てよう 一人ひとりが輝く 笑顔あふれるまち まつかわ」の実現に向け、人口減少問題への対策やリニア時代を見据えた新たな取組を力強く推進して参ります。

本計画の策定にあたり、町民意向調査にご協力いただいた1,033名の皆さま、それぞれの想いをもち寄り忌憚なく議論いただいた地域づくり会議の皆さま、各分野の知見を基に的確な助言・提案をいただいた総合基本計画審議会の皆さま、そして、地域を愛し日々活躍されている全ての町民の皆さまに心から厚くお礼申し上げます。「さすが松川、やっぱり松川だ」と言われる活気ある町を目指し、一人ひとりが幸せを実感できるよう一緒に取り組んで参りましょう。



## 目次

<b>第 1 部</b>	<b>計画策定の趣旨</b>	<b>1</b>
第 1 章	総合計画の役割と目的	2
第 2 章	松川町の現況	3
第 3 章	本計画の基本的な考え方と趣旨	6
第 4 章	計画の構成と期間	9
<b>第 2 部</b>	<b>基本構想</b>	<b>11</b>
第 1 章	まちづくりの将来像	12
第 2 章	まちづくりの将来像を実現するためのプロセス	12
<b>第 3 部</b>	<b>基本計画 - 1</b>	<b>13</b>
第 1 章	「ウェルビーイング」を測り、可視化する	14
第 2 章	ウェルビーイング（地域幸福度）指標について	15
第 3 章	ウェルビーイング指標でみる松川町のすがた	16
<b>第 3 部</b>	<b>基本計画 - 2</b>	<b>22</b>
	基本計画の体系（一覧）	23
	24テーマごとの施策（詳細）	28
<b>第 4 部</b>	<b>資料編</b>	<b>54</b>
	第 6 次松川町総合計画成果指標一覧	55
	総合基本計画審議会／地域づくり会議	59
	諮問／答申	60

# 第1部

## 計画策定の趣旨

# 第1章 総合計画の役割と目的

松川町では、昭和47（1972）年度に第1次松川町総合計画を策定して以来【改定版】を含め6期にわたる計画を策定し、その指針に基づき行政運営を進めてきました。

総合計画は、地域社会が直面する課題や環境の変化に柔軟に対応するための行動指針として役割を果たすものです。同時に、町の現状や特性を深く理解した上で、「将来どのような町でありたいか」という理想像を描き、その実現に向けた基本的な理念や方針を体系的に整理する重要な意義を持ち合わせます。

これらを住民と行政が協働して考え、共に取り組むまちづくりの実践へと繋げるため、第6次松川町総合計画を策定します。



## 第2章 松川町の現況

### 1. 町制施行

昭和31年9月20日、大島村と上伊那郡上片桐村の2村合併により発足しました。続いて昭和34年に生田村と高森町山吹の一部を編入合併し、現在の松川町となっています。令和8年には町制施行70周年を迎えます。

### 2. 町名の由来

中央アルプスから流れる片桐松川より命名しました。

### 3. 町章

松川町の「マ」、「ツ」、「川」と、平和の象徴である「鳩」を図案化したものです。昭和42年11月2日、町制施行10周年を記念して制定しました。



### 4. 位置

北緯35度35分38秒 東経137度54分45秒 海拔542m（松川町役場の位置）

長野県南部、伊那谷のほぼ中央に位置し、町域は東西に細長く、東は南アルプス、西は中央アルプスに達しています。また、町の中央を天竜川が流れています。

### 5. 面積

72.79 km<sup>2</sup>、東西21 km、南北6 km、周囲57 km



### 6. 気候

令和5年ベースで年平均気温13.8℃（平成30年比+0.3℃）、年間降水量1,546 mm（平成30年比+526 mm）、年間日照時間2,329.2h（平成30年比+75.9h）であり、全国的に見ても日照時間が長く、長野県内では温暖な気候です。

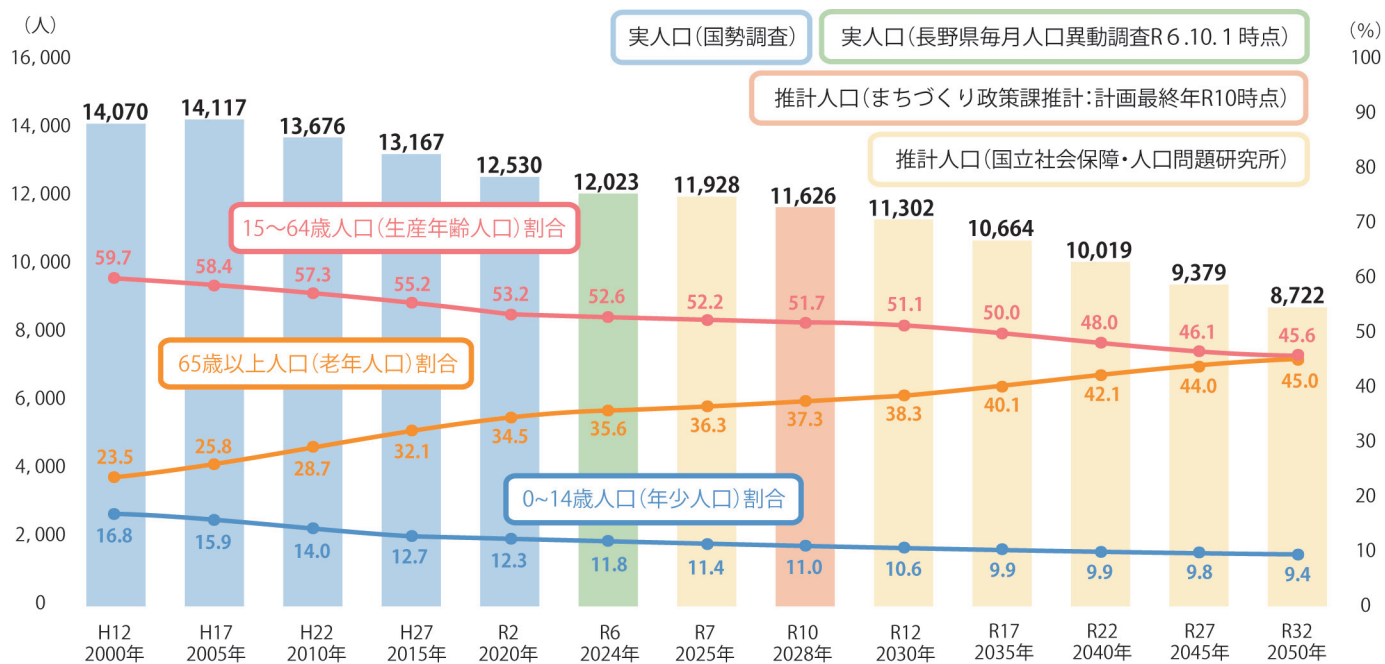
## 7. 人 口

12,023 人（令和 6 年 10 月時点）

松川町の総人口は、高度経済成長期とともに増加していましたが、平成 17 年度の 14,117 人をピークに減少に転じています。

年齢構成割合で見ると、年少人口（0～14 歳）及び生産年齢人口（15～64 歳）の割合が減少傾向にある一方、老年人口（65 歳以上）の割合が増加傾向にあります。

平成 27 年と令和 2 年の国勢調査人口をもとに、コーホート変化率法を用いて人口推計を行うと、松川町の将来推計人口は、本計画の最終年度となる令和 10 年度には 11,626 人へ減少することが想定されます。また、今から約 15 年後の令和 22 年頃には 10,000 人を割り込み、更にその 10 年後には、生産年齢人口と老年人口の割合が同程度になることも想定されます。



## 8. (友好) 姉妹都市

### 【静岡県牧之原市】

旧榛原郡相良町と昭和 61 年 10 月 2 日に「姉妹都市」を締結しました。その後、平成の大合併により牧之原市が発足し、平成 18 年 10 月 1 日に同市と再度「姉妹都市」を締結しています。

### 【埼玉県蓮田市】

平成 24 年 10 月 1 日に「災害時相互応援協定」及び「友好交流都市宣言」の調印を交わしました。これらを発展する形で、平成 28 年 10 月 29 日に「友好姉妹都市」を締結しています。

## 9. 町の特産等

### 【特産】

**果物**…「くだものの里」として果樹栽培 100 年以上の歴史があり、りんご、梨を中心に、ぶどう、洋梨、さくらんぼ、桃、すもも、ブルーベリーなど一年を通して季節ごと様々な果物の栽培が盛んです。

### 【町木】

**松**…町の悠久の繁栄と伸展を象徴するものです。



### 【町花】

**梨の花**…純白で清純な美しさをたたえる梨の花は、優雅で気品があり、町を象徴するにふさわしいものとして愛されています。



# 第3章 本計画の基本的な考え方と趣旨

## 1. 課題認識

### ～人口減少社会とリニア時代への向き合いかた～

今日の日本社会は、人口減少という不可避な現実と直面しています。特に地方においては、少子高齢化が急速に進行し、それに伴う人口減少が地域社会に深刻な影響を及ぼしています。この動きは経済活動の縮小や地域コミュニティの弱体化、さらには社会的孤立の問題を顕在化させるものです。

松川町においても、第5次松川町総合計画【改定版】で予測した将来推計人口は、令和5年10月時点で推計12,361人のところ、実績12,235人と予測を割り込み、前章で示したとおり、直近（令和6年10月時点）では12,023人と減少スピードを緩めることなく推移しています。こうした状況下、地域社会においては、医療・福祉や教育の現場、道路・公共交通を始めとする社会基盤の維持管理、自治組織の運営等、様々な場面で「担い手不足」が顕在化しつつあり、中長期的な視点において、地域の暮らしを支えるサービスやインフラの維持が課題になりつつあります。

一方で、松川町を含む南信州地域には、リニア中央新幹線および三遠南信自動車道の2大高速交通網の開通という大きな変化が控えています。これらは、当地域と大都市圏の移動時間を大幅に短縮するだけでなく、特にリニア中央新幹線は、東京・名古屋・大阪という日本の人口の半数を超えるスーパー・メガリージョンの形成により、ヒト、モノ、カネの動きに劇的な変化をもたらす可能性も秘めています。

リニア中央新幹線の開業時期は、令和9年以降に延期されていますが、この変化がもたらす可能性を町の発展に結びつけるためには、今からできること、やるべきことを考え、着実に準備を進めることが不可欠です。未来の変化を単なる機会と捉えるのではなく、地域の魅力を引き出し、次の世代へと繋がる新たな価値を創出するための取組みを加速させる必要があります。



松川町中心部からリニア長野駅(仮称)方向を望む

## 2. 取り組みの視点

第6次松川町総合計画は、このような時代の変化と地域の将来性を見据え、以下の2つの視点から、取り組みを展開します。

- ①人口減少社会においても住民一人ひとりが心身ともに豊かで充実した生活を送れる環境を整える
- ②松川町の強みや弱みを可視化することで、様々な関係者が地域の魅力や課題を共有し、新たな価値の創出に向けて協力し合える環境を整える

これらを前提として、住民、行政、事業者等、様々なプレイヤーが地域全体の目指す価値観に共感し、同じ方向を向かなくてはなりません。そこで、本計画は取組みを推進していく際の共通言語として、地域の幸福度・生活満足度、すなわちウェルビーイングを高めることに着目します。では、ウェルビーイングとは何でしょう。



### 3. ウェルビーイングとは何か

ウェルビーイング (well-being) とは、簡単に言えば「幸せを実感すること」です。幸せの感じ方は、人それぞれで異なりますが、一般的には「身体的・精神的・社会的に良好な状態」を指します。WHO（世界保健機関）も、健康を「ウェルビーイングな状態」と定義付けており、一時的な感情ではなく「継続的に幸せを実感すること」とも言えます。

今日、ウェルビーイングは、個人が抱く感情を超え、社会全体の健全な発展や持続可能性に関わる重要な概念として注目されるようになりました。

ウェルビーイングを世界的な動きの中で捉えると、GDP等の経済指標に代わる新たなベンチマークとしての地位を確立しつつあります。具体的には、物質的な豊かさが飽和した現代において、ウェルビーイングが、これまでの「経済成長のみを目標に掲げてきた社会」から「地球規模の環境問題に向き合う持続可能な社会」へ転換を促す役割が期待されています。

また、国内動向に視点を向けると、ウェルビーイングは、人口減少社会において、持続可能な地域づくりを実現するための概念として注目を集めています。政府が地方創生の要として推進するデジタル田園都市国家構想においても、「持続可能な環境・社会・経済」、「地域発の産業革新」に並び、「心ゆたかな暮らし」の実現が謳われており、ウェルビーイングの向上は、「持続可能な地域づくり」を議論する際に欠かせないものとなりました。

### 4. 過去の計画からの継続と発展

こうした国内外の動向を踏まえつつ、松川町でも「持続可能な地域づくり」の実現に向け、住民のウェルビーイングの向上、すなわち一人ひとりの幸せ実感を高める政策を推進していかなくてはなりません。その軸となるのが、この第6次松川町総合計画です。

「持続可能な地域づくり」については、これまでの第5次松川町総合計画【改定版】においても、SDGsの視点や考え方を取り入れる形で推進してきました。SDGsは、「負の遺産を残さない」という視点から持続可能性を考えています。これに加えて、ウェルビーイングには、「正の遺産を次に繋げる」という視点が含まれており、国際アジェンダとしてのSDGsを上書きする形で持続可能性にアプローチしています。

本計画では、ウェルビーイングを地域づくりの議論の中心に置くことで、第5次松川町総合計画以降、松川町が大切にしてきたまちづくりの将来像「いっしょに育てよう 一人ひとりが輝く 笑顔あふれるまち まつかわ」を尊重しつつ、その実現プロセスについて、時代に即したものと進化させます。



引用:WHO (2021), Towards Developing WHO's agenda on well-being  
Fig.2:Paradigm shifts towards peaceful, healthy and resilient and societies より

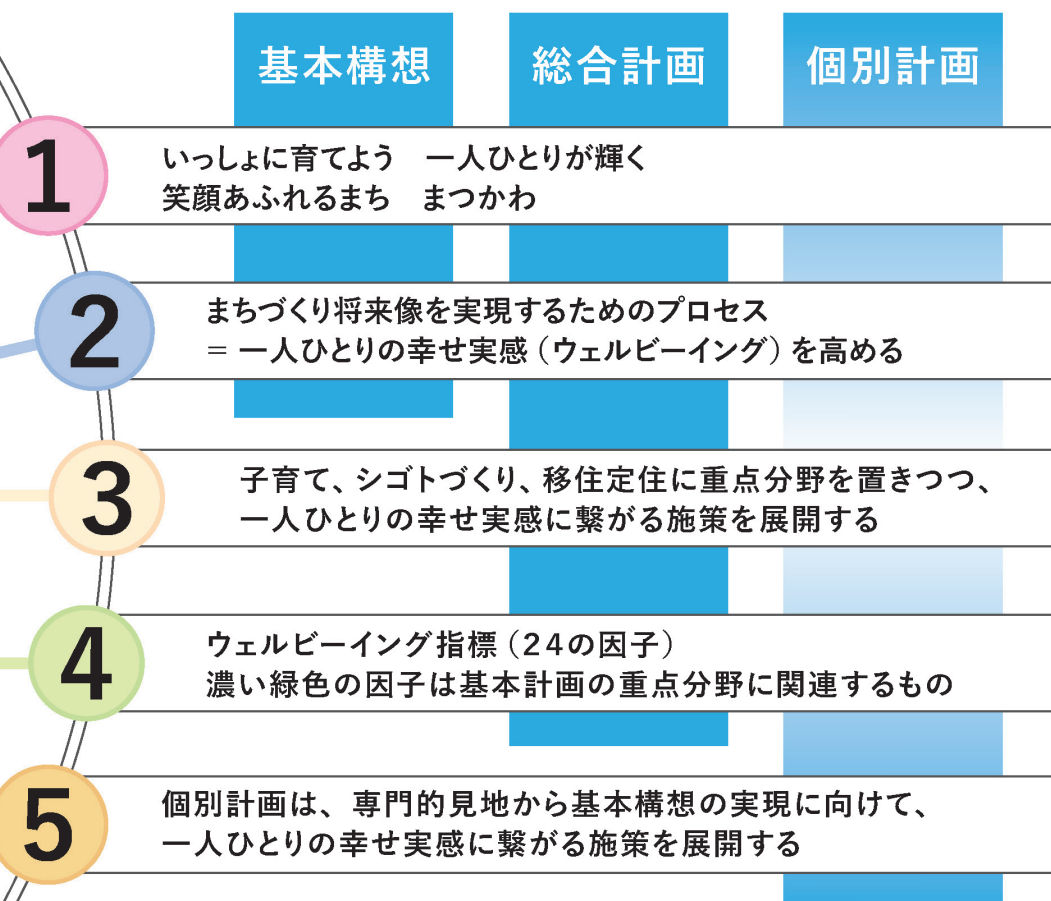


## 2. 計画策定の経過

- 第1次計画 昭和47年度～昭和58年度（12年）
- 第2次計画 昭和59年度～平成05年度（10年）
- 第3次計画 平成06年度～平成17年度（12年）
- 第4次計画 平成18年度～平成27年度（10年）
- 第5次計画 平成28年度～令和元年度（4年）
- 第5次計画 令和02年度～令和06年度（5年）  
【改定版】

## 3. 計画の期間

本計画が対象とする期間は次の通りです。  
令和7（2025）年4月1日～  
令和11（2029）年3月31日まで4年間



※ 1…健康まつかわ 21  
データヘルス計画  
自殺対策基本計画

※ 2…健康まつかわ 21  
データヘルス計画  
障がい福祉計画/  
障がい児福祉計画  
介護保険計画/  
地域包括ケア計画

※ 3…北部まちづくり構想  
長野県リニア駅  
近郊グランドデザイン

## 第2部

### 基本構想

## 第1章 まちづくりの将来像

いっしょに育てよう

一人ひとりが輝く

笑顔あふれるまち

まつかわ

まちづくりの将来像とは、松川町が長期的な視点において、「こうありたい」と思い描く姿を言語化したものです。

松川町には、多くの人々が「ちょうどいい」と感じる居心地の良さがあります。他所にはない自然や風景、豊かであたたかな風土に見守られながら、人のつながりを大切にし、住民の主体的な取組みを育んできました。それが、この町の「ちょうどよさ」であり、財産です。まちづくりの将来像は、この財産を未来につなげ、安心して暮らし続ける地域であるために、20年後、30年後を見据えて掲げるものです。

本計画においても、このまちづくりの将来像を基本的・普遍的な理念として尊重していきます。

## 第2章 まちづくりの将来像を実現するためのプロセス

一人ひとりの

幸せ実感

ウェルビーイング

を高めます

本計画の策定趣旨のとおり、「持続可能な地域づくり」には住民一人ひとりのウェルビーイングの向上が必要です。この点を踏まえ、まちづくりの将来像を再認識してみます。

「いっしょに育てよう」… 孤独・孤立に陥ることなく、人とのつながりを育む

「一人ひとりが輝く」… 自己実現のための舞台・居場所がある

「笑顔あふれるまち」… 笑顔はまさに幸せを実感すること

このように、まちづくりの将来像とウェルビーイングは親和性があるものです。住民一人ひとりの幸せ実感を高める取組みを通じて、まちづくりの将来像の実現を推進していきます。

## 第3部

### 基本計画 -1-

ウェルビーイング（地域幸福度）

指標でみる松川町のすがた

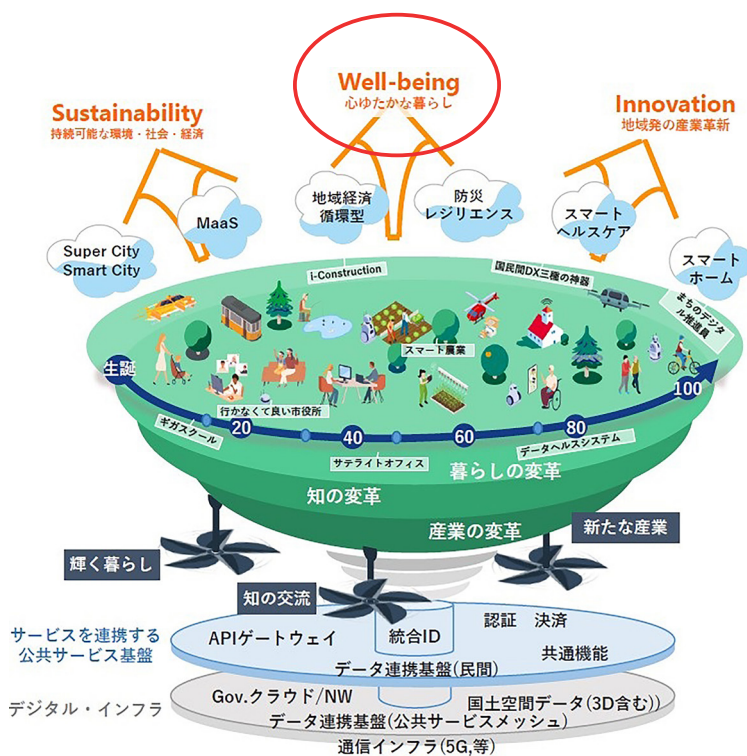
# 第1章 「ウェルビーイング」を測り、可視化する

持続可能な地域づくりの実現に向けて、共通言語となるのは、「ウェルビーイング」です。

松川町においても直面している「人口減少」と、リニア中央新幹線、三遠南信自動車道の開通によって到来するであろう「大きな変化」の中で、一人ひとりが生活の中で継続的な幸せを実感できること、すなわち住民の「ウェルビーイング」を如何にして高めることができるのかが今後の地方行政における至上命題であり、何があっても立ち返る軸になるものです。

ウェルビーイングの向上というアプローチにより、本計画に掲げる町の将来像の実現という未来に向かって漠然とではなく具体的にアクションを起こし、かつ限られた資源の中で効果的に進めるにはどのようにすべきかを議論するには、松川町のウェルビーイングを測定し、見える形にすることが必須であり、そのすがたを多様な主体と共有しながら、戦略的な挑戦と不断の改善を行っていくことが鍵になってきます。

本計画では、松川町におけるウェルビーイングを可視化し、測定する指標として、デジタル庁が開発した「ウェルビーイング（地域幸福度）指標」を活用します。ウェルビーイング（地域幸福度）指標により松川町のすがたを捉え、わかりやすく視覚的に表示することで、様々な取組を行う際の価値観や目的の共通言語とすることができるとともに、本計画に掲げる将来像の実現に向けて、今どのくらいの立ち位置にいるのかを評価することができます。



(注釈)  
デジタル庁資料より  
松川町改編

## 第2章 ウェルビーイング（地域幸福度）指標について

### 1. ウェルビーイング（地域幸福度）指標の概要

主観指標と客観指標の両方をバランスよく活用し、地域全体や町民の「暮らしやすさ」や「幸福感」といった感覚的な概念を測定し、可視化するため、デジタル庁が開発した指標です。市町村ごとの単位で測定が可能となっており、地域固有の強み・弱みなどの特徴が視覚的に把握できるようになっています。

### 2. ウェルビーイング（地域幸福度）指標の構成

(1) 指標全体は、

- 地域における幸福度・生活満足度を計る5つの設問
- 24個のカテゴリー（因子）から成る3つの要素

**生活環境・地域の間人関係・自分らしい生き方**

から構成されます。

(2) 24因子それぞれに、主観指標と客観指標が設定されています。

客観指標と主観指標のそれぞれの指標は、因子間での比較や他地域との比較が可能となるよう、偏差値となっています。

【主観指標】… 町民の主観によるアンケートデータ

【客観指標】… 統計値など、客観的に測定できるデータ

(3) 主観指標であるアンケートは、デジタル庁によって指定された全51問の標準設問によって行っています。松川町では、令和5年12月にウェルビーイング（地域幸福度）指標の主観指標設問を組み込んだ町民意識調査アンケートを実施しています。

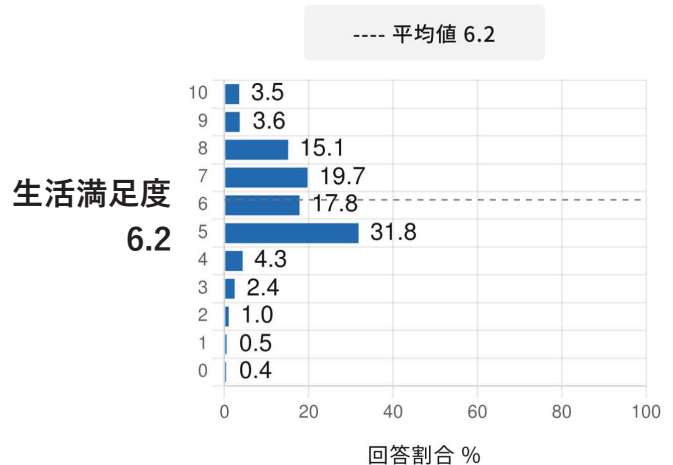
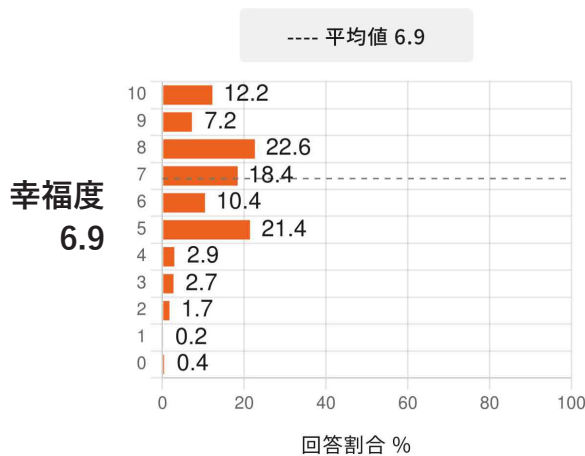
# 第3章 ウェルビーイング指標でみる松川町のすがた

## 1. 松川町のウェルビーイング（地域幸福度）指標結果

(1) 町民意識調査アンケートによって得られた松川町のウェルビーイング（地域幸福度）指標の結果では、まず住民の実感としての総合的な幸福度・生活満足度がわかります。

- ① 幸福度：現在、あなたはどの程度幸せですか。
  - とても幸せ = 10点、■とても不幸 = 0点
- ② 生活満足度：現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか。
  - とても満足 = 10点、■とても不満足 = 0点

### 松川町の幸せ実感度



【出典】2023年度版(令和5年度版) Well-Being 個別調査

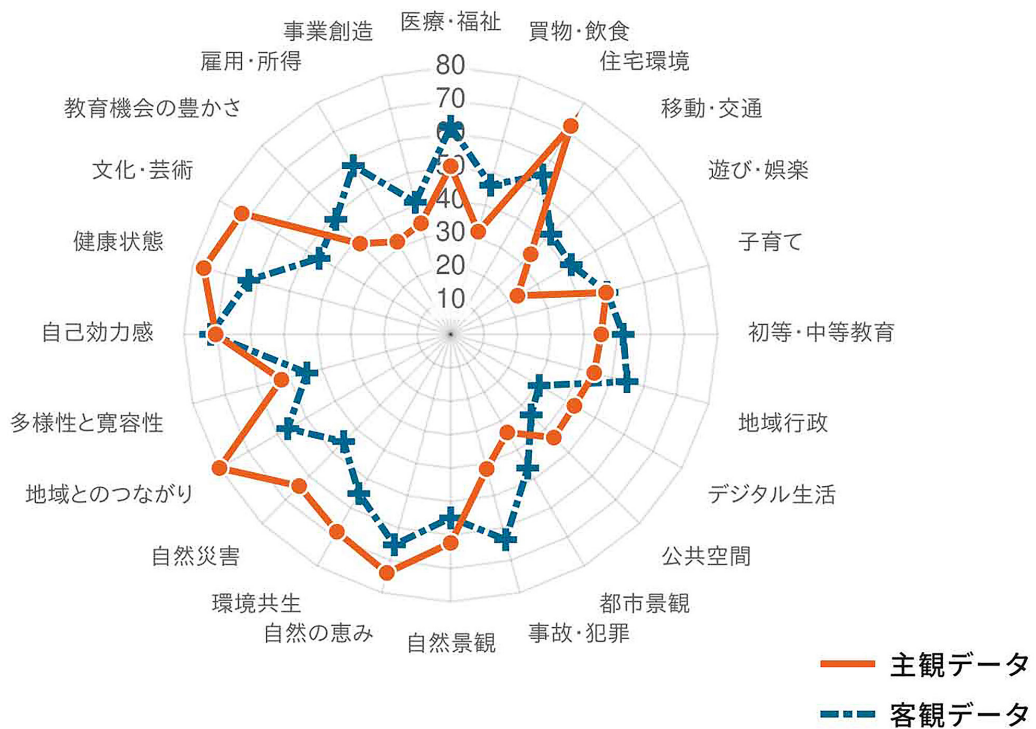
※どちらも平均値

この幸せ実感度とも言える幸福度と生活満足度の総量を上げていくことが、本計画の将来像の実現にどのくらい近づいたかということに対する最終的な指標になります。

(2) 総合的な幸福度・生活満足度は、本計画などによって実施される様々な取組みの結果として生み出される実感ですが、ウェルビーイング（地域幸福度）指標では、総合的な幸せ実感につながる要素を24個の因子に分解しています。

24 因子の主観指標と客観指標の結果をまとめたスパイダーチャートの形が、松川町の現状のすがたです。

## カテゴリー別



因子	医療・福祉	買物・飲食	住宅環境	移動・交通	遊び・娯楽	子育て	初等・中等教育	地域行政
主観	50.3	31.8	72.0	33.9	23.1	48.2	45.1	44.5
客観	62.2	46.2	55.1	42.4	41.7	48.5	51.7	54.7

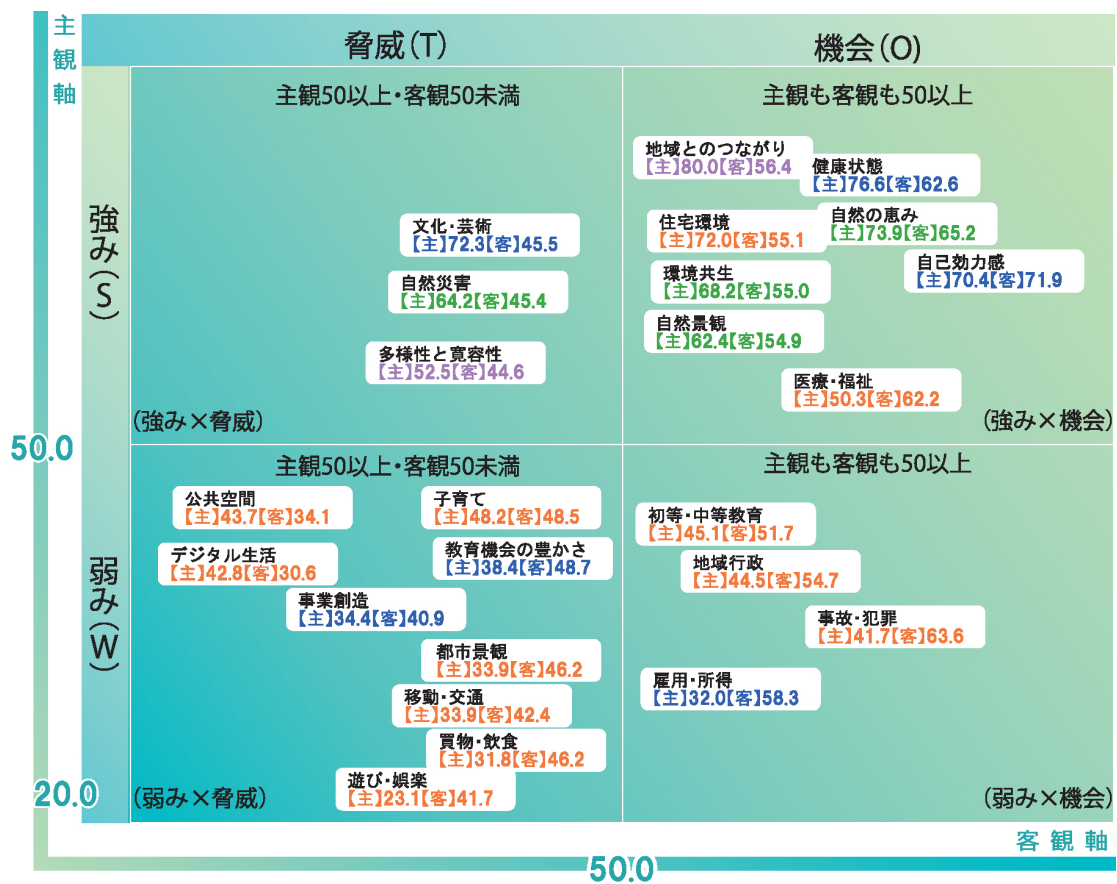
因子	デジタル生活	公共空間	都市景観	事故・犯罪	自然景観	自然の恵み	環境共生	自然災害
主観	42.8	43.7	33.9	41.7	62.4	73.9	68.2	64.2
客観	30.6	34.1	46.2	63.6	54.9	65.2	55.0	45.4

因子	地域とのつながり	多様性と寛容性	自己効力感	健康状態	文化・芸術	教育機会の豊かさ	雇用・所得	事業創造
主観	80.0	52.5	70.4	76.6	72.3	38.4	32.0	34.4
客観	56.4	44.6	71.9	62.6	45.5	48.7	58.3	40.9

※ 数値は全て偏差値

## 2. 現状・特長・課題

(1) 松川町におけるウェルビーイング（地域幸福度）指標 24 因子の結果を、SWOT 分析（※）という手法と掛け合わせ、主観を縦軸、客観を横軸にとり、偏差値 50 を基準として分けると作成できるクロス表上の4つの領域に振り分けます。スパイダーチャートとあわせて、松川町の現状をさらに詳細に捉えることができます。



### (※) SWOT 分析

■ 組織やプロジェクトの現状を評価・分析し、戦略を立てるための方法のひとつで、物事を「強み」「弱み」「チャンス（機会）」「脅威」の4つに分けて整理する手法。

**強み (Strengths)** : 得意なこと、他より優れている部分、得意分野

**弱み (Weaknesses)** : 苦手なこと、改善が必要な部分、課題

**チャンス (Opportunities)** : プラスになる外部の要因、チャンス、成長の可能性

**脅威 (Threats)** : マイナスになる外部の要因、リスク、危険性

■ 状況を整理して「何を伸ばすべきか」「何に注意すべきか」を考えやすくするために使います。

どの領域にどの因子が区分されているかという位置づけをみることで、松川町の個性（現状・特長・課題など）が見えてきます。

	脅威(T)	機会(O)
強み(S)	<p>強み × 脅威 ・主観50以上・客観50未満</p> <p><b>ブランドイメージが先行</b></p> <p>→ 住民は強みだと感じているのに比べて、客観的には低い → やがて劣化していく恐れがある → 根本的な仕組みの変化を検討することも必要</p>	<p>強み × 機会 ・主観も客観も50以上</p> <p><b>松川町の強み</b></p> <p>→ 松川町の特長 → 強みであり続けられるようにすると同時に、さらに強化し、成長につなげることも重要</p>
弱み(W)	<p>弱み × 脅威 ・主観も客観も50未満</p> <p><b>松川町の課題</b></p> <p>→ 対策していくために大きな投資が必要 → どの課題に対してお金や人を投資して重点的に対策すべきかを見極めていくことが重要</p>	<p>弱み × 機会 ・主観50未満・客観50以上</p> <p><b>気づいていない潜在的な強み</b></p> <p>→ 客観的には強みであるが、住民には認識されていない → ずっといると当たり前になったり先入観があったりして、気づかないことも多い → 積極的に知ってもらうことで認識が変わる可能性がある</p>

### 【松川町の強み】主観も客観も50以上（強み×機会）

〈地域とのつながり〉〈健康状態〉〈自然の恵み〉〈住宅環境〉〈自己効力感〉〈環境共生〉〈自然景観〉〈医療・福祉〉

この領域にある因子は、主観指標・客観指標ともに高く、名実ともに松川町の強みであり、これまで行ってきた様々な取組や活動などの結果、松川町という地域に内在している特長です。

言い換えれば、他地域と比較したときの「松川町らしさ」であり、松川町における持続可能な地域づくりの実現に向けて、これらの因子が強みでありつづけられ、さらに伸ばしていけるようにしていきます。

松川町のさらなる成長のためには、まずこの領域に着目し、これらの強みを最大限生かしていくことが重要です。

### 【松川町の課題】主観も客観も 50 未満（弱み×脅威）

〈子育て〉〈教育機会の豊かさ〉〈公共空間〉〈デジタル生活〉〈移動・交通〉〈買物・飲食〉〈遊び・娯楽〉〈都市景観〉〈事業創造〉

強みの対極にある領域に属する因子は、主観・客観ともに偏差値 50 未満であり、松川町の課題である分野です。

24 因子の中で、松川町においては課題である因子の数が最も多いです。

住民のウェルビーイング＝幸せ実感を高めながら、持続可能な地域づくりを実現する歩みを着実なものにしていくためには、これらの課題やその要因と正面から向き合い、把握・理解し、対策を立て、松川町がこれからも住民にとって「住みたい」「住んでいてよかった」町であるための戦略を実践していく必要があります。

どの課題因子も、一朝一夕には改善できず、改善や対策を行うためには時間・人・お金の大きな投資が必要となるため、どの課題因子に重点的な投資を行うか、優先順位などを見極めることが肝要です。

### 【ブランドイメージ先行】主観 50 以上・客観 50 未満（強み×脅威）

〈文化・芸術〉〈自然災害〉〈多様性と寛容性〉

これらの因子は、住民は強みだと感じている（＝主観数値が高い）のに比べて、客観数値は低く、良いイメージのみが先行していると言えます。

強みであると思いこんだまま、何も変えなければ、やがて低下していく恐れがあります。低下を防ぎつつ、イメージだけでなく客観的にも強みとしていくには、根本的な環境や基盤、仕組みを変えていくことを検討していく必要があります。

### 【気づいていない潜在的な強み】主観 50 未満・客観 50 以上（弱み×機会）

〈初等・中等教育〉〈地域行政〉〈事故・犯罪〉〈雇用・所得〉

ここに振り分けられる因子は、客観的には強みとして捉えられるものの、主観である住民の実感が低い分野です。つまり、住民が気付いていない潜在的な強みであると言えます。

ずっと同じ環境や場所にいると、その状態が当たり前に感じられたり、先入観や固定観念が生まれることもあり、気づいていないことでも、改めて見直してみると実は特長や強みになり得ると再認識できることもあります。

各因子の内容を再認識してもらうための機会を積極的に行政などが創出することで、住民の実感や認識が変わり、名実ともに松川町の特長であるという認識に変わる可能性がある因子です。

同時に、住民の実感からすると課題であるということも現状であるため、住民が実感できるレベルになるよう、取組の改善を図っていくことも必要です。

### 3. 基本計画に対する視点及び反映

(1) ウェルビーイング（地域幸福度）指標によって浮き彫りになった松川町の現状・課題・特長は、町民のウェルビーイングを高め、本計画が掲げる町の将来像を実現するための重要な基礎資料となります。

(2) ウェルビーイング（地域幸福度）指標を共通言語とし、住民主体の地域づくり会議や総合基本計画審議会での議論、アイデアを踏まえて、次の3つの視点で計画の構成を整理しています。

**視点 ①** - 将来の地域・時代を見据えつつ、計画期間中に取り組む重点方針・分野を明確化する

**視点 ②** - 町の方針や将来像を共有し、登り方やルートは違っても同じ山頂を目指している状態をつくる

**視点 ③** - 計画自体をわかりやすい体系にする

この3つの視点にもとづき、24 因子ごとに行政としてどのようなアプローチで政策・施策に取り組むべきなのかを反映し、計画を策定しています。

(3) さらに、日本全体、ひいては松川町においても、将来推計を見ればわかるように、どのような形にせよ将来の人口減少が不可避である状況において、持続可能な地域づくりの実現に向けて取り組みを進めるためには、将来の時代を担う世代への投資を行っていくことが重要です。本計画ではこうした観点を踏まえて、基本計画の中でも特に重点的に取り組むべき分野を次のとおり示します。

## 子育て / シゴトづくり / 移住定住

これらの分野に関連する因子や取組みについて、明示しています。

(4) ウェルビーイング（地域幸福度）指標は、毎年継続して測ることで、計画に掲げる目標に対する評価指標としても活用します。

## 第3部

### 基本計画 -2-

24テーマごとの政策方針

## 1. 医療・福祉

町民が健康で安心して医療を受けられ、介護や福祉サービスにスムーズにアクセスできる環境を整備します。

- ・ 1 下伊那赤十字病院の特色を生かした行政と連携した事業の実施
- ・ 2 認知症患者やその家族を地域で支える仕組みの構築（認知症総合事業）
- ・ 3 事業者審査の充実等、介護保険計画の適正運用
- ・ 4 アウトリーチ等を通じた継続的支援事業（重層的支援体制整備事業）
- ・ 5 多機関協働事業（重層的支援体制整備事業）
- ・ 6 包括的相談支援事業による障がい者の相談支援（重層的支援体制整備事業）
- ・ 7 特定健診の受診勧奨をはじめとした健康増進事業の実施
- ・ 8 放課後等デイサービスの利用支援

## 2. 買物・飲食

町民が日常生活に必要な買物や飲食を、混雑なくスムーズに利用でき、質の高いサービスを安心して享受できる環境を整備します。

- ・ 1 商店街の賑わい創出に向けた取組の支援
- ・ 2 地域通貨など、地域内で日常的な買物に使えるツールの検討
- ・ 3 地産地消と地域内購買活動の推進

## 3. 住宅環境

松川町に住み続けたい（定住）・住んでみたい（移住）住環境の実現

- ・ 1 ターゲットごとに異なるアプローチの移住定住マーケティングの実践
- ・ 2 移住希望者のためのナビゲーターとワンストップ相談窓口の検討
- ・ 3 松川町東京事務所の設置検討
- ・ 4 空き家を活用した移住体験住宅の整備
- ・ 5 リニアでつながる都市間交流と二拠点活動の支援促進
- ・ 6 空き家対策コーディネーターの設置検討
- ・ 7 住宅リフォーム補助制度を活用した空き家改修支援
- ・ 8 空き家取得補助制度の検討
- ・ 9 若者定住住宅取得祝金制度の活用による定住支援
- ・ 10 地球温暖化対策事業と連携したゼロカーボン住宅取得の支援
- ・ 11 土地開発公社の活用による宅地分譲の推進
- ・ 12 シティプロモーションも含めた移住定住に関する情報発信の強化

## 4. 移動・交通

リニア中央新幹線や三遠南信自動車道の開通を見据え、町内外の道路網整備と公共交通の改善を推進します。

- ・ 1 使える公共交通にするための仕組みづくり
- ・ 2 リニアを見据えた伊那大島駅の在り方検討と JR 飯田線の活性化の促進
- ・ 3 道路網整備計画（仮称）の策定
- ・ 4 飯島飯田線上片桐バイパス、上片桐停車場線バイパスの整備推進
- ・ 5 公共交通を活用した免許返納者へのおでかけ支援

## 5. 遊び・娯楽

町民や観光に訪れた人が、心身のリフレッシュや交流を楽しむため、多様な娯楽機会を提供し、誰もが気軽に楽しめる環境を整えます。

- ・ 1 時代やニーズに即応する清流苑運営
- ・ 2 健康増進、介護予防、幼児体力づくり等での活用による利用者の増加を通じたプール等施設の持続的な運営
- ・ 3 旧松川青年の家の活用
- ・ 4 図書館・資料館のイベントや企画展の充実
- ・ 5 公民館事業における企画の充実と、多様な社会教育活動への支援

## 6. 子育て

すべての子ども・若者が切れ目なく支援を受けられ、地域全体で子どもを育てる・子育てを応援する風土を醸成し、「子どもまんなか社会」の実現を目指します。

- 1 松川町結婚相談所やながの結婚マッチングアプリを通じた出会いのサポート
- 2 結婚新生活支援事業による新婚世帯へのサポート
- 3 めばえ支援・めばえ相談による妊娠を望む家庭への支援
- 4 妊婦訪問・両親学級など、妊娠・出産・育児に係る相談や学びの支援
- 5 乳幼児健診・相談の充実
- 6 産後健診・産後ケア事業による出産後の母親へのサポート
- 7 授乳・育児サポート事業、保育サポート事業などの育児支援
- 8 出生子育て支援金・出産子育て応援給付金による経済支援
- 9 「あそびの教室」の拡充検討など、療育事業の推進によるこどもの成長・発達支援
- 10 保育園・学校における給食費無償化
- 11 学力検定（英語）料の補助による児童生徒の学力向上支援
- 12 病児保育など保護者ニーズに対応したサービス提供体制の検討
- 13 信州やまほいく認定制度による「やまほいく」を取り入れた特色ある保育園の運営
- 14 幼少期（保育園・小学校低学年）における英語遊び時間の提供
- 15 計画的な保育園施設・環境の整備
- 16 民間活力等を活用した保育園運営の研究
- 17 小学校、中学校入学時の入学祝い金の支給
- 18 福祉医療の充実・推進（18歳までの子ども、ひとり親）
- 19 児童館サービスの安定供給による保護者支援
- 20 公共交通を活用した子どもの送迎支援の検討
- 21 子育て支援センターおひさまのカリキュラムやイベントの充実と、立地を含めた施設再整備の検討
- 22 こども家庭センターの体制強化及び支援の充実
- 23 包括的相談支援事業による子ども及び子育て世代の相談支援（重層的支援体制整備事業）
- 24 ブックスタートなど図書館を通じた子育て支援

## 7. 初等・中等教育

松川町教育大綱に則り、「未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち」を目指し、小中高の教育環境を整備するとともに、子どもたちが安心して学べる場を提供することで、質の高い特色ある教育を実現します。

- 1 学園化構想の推進による保・小・中12年間のシームレスな教育体系の実現
- 2 フリースクールを主とした学校以外のこどもの居場所づくり
- 3 サマーチャレンジ、地域未来塾など、地域と連携した児童生徒の学力向上の取組
- 4 てらこや松中・しごと未来フェアによる児童生徒の学習機会・キャリア教育の拡充
- 5 中学校文化クラブの運営による中学生の文化系活動の確保
- 6 小学校・中学校ALT配置強化及び「英語遊び」導入（保・小1・2年）による英語教育の推進
- 7 学びの保障に向けて子どもたちの状況や段階に応じた柔軟な支援（不登校支援）
- 8 総合的な学習の時間など、地域資源を活用した小・中・高における総合的な学びの提供
- 9 計画的な町内小中学校3校の施設・環境整備
- 10 地域応援組織との連携・協働による教育活動の充実

## 8. 地域行政

充実した持続可能な公共サービスを提供し、町民が安心して暮らせる地域行政を実現します。

- 1 スクラップアンドビルドの励行と将来投資効果から逆算したメリハリのある予算編成
- 2 収納対策強化による財政基盤の強化
- 3 住民が利用しやすい図書館・資料館の運営
- 4 時代やニーズに合った鮮度の高い情報発信
- 5 橋梁・トンネル・舗装の修繕維持管理によるライフラインの確保
- 6 松川町公共下水道全体計画に基づく下水道の統廃合に向けた準備
- 7 住民が利用しやすい社会教育施設の運営
- 8 リニア発生土における運搬の安全性確保と利活用の検討
- 9 業務における職員のコンプライアンス意識の醸成
- 10 地域や組織について自ら課題を発見し、行動できる職員の育成
- 11 老朽配水管の更新・水道施設の維持管理
- 12 公共施設等総合管理計画に基づく維持管理

## 9. デジタル生活

行政のデジタル活用を推進し、誰もが利用できるデジタル環境を整備することで、便利で快適な生活を実現します。

- 1 デジタル基盤構築を見据えた新たな情報発信ツールの検討
- 2 DX推進要領の更新と取組み推進
- 3 フロントヤード改革の検討
- 4 デジタル生活の基盤構築に向けたマイナンバーカードの普及促進

## 10. 公共空間

徒歩圏内に心地よい公園や緑地を整備し、歩きたくなる魅力的な街並みを創出して、安心して過ごせる公共空間を提供します。

- 1 公園長寿命化計画に則った公園の整備促進
- 2 ガバメントクラウドファンディング等を活用した小中学校のグラウンド芝生化検討
- 3 立地適正化計画の策定

## 11. 都市景観

魅力的で素敵な都市景観を創造し、町民が誇りに思える美しい街づくりを推進します。

- 1 景観計画に基づく都市景観の整備
- 2 松川町屋外広告物要綱に基づく都市景観の整備・不要広告物の撤去
- 3 リニア・三遠南信開通を見据えた統一サインの検討

## 12. 自然景観

美しい自然景観を保全・再生し、町民が自然の恵みを楽しむことができる環境を整え、心豊かな生活を支えます。

- 1 農村風景に調和する果樹園の維持支援
- 2 ツツザキヤマジノギク等の学習活動を通じた町内に生息する希少種等普及啓発と保護活動推進

## 13. 自然の恵み

豊かな自然環境を守り、町民が自然の恵みを楽しむことができる持続可能な地域づくりを推進します。

- 1 およりの森の整備を通じた町民が気軽に自然と触れ合える場所の提供
- 2 環境保全型農業の推進
- 3 地域との連携による有害鳥獣対策の推進
- 4 河川等の汚濁防止による水環境などの保全
- 5 安定したきれいな水道水の供給
- 6 農地耕作条件改善事業による地域のニーズに沿ったきめ細かな農地基盤整備

## 14. 環境共生

地域一体となって地球温暖化防止対策と脱炭素社会の実現に取り組み、環境に配慮した持続可能な地域づくりを進めます。

- 1 3R 運動の推進や不法投棄撲滅によるごみの適正処理及び減量
- 2 住民へのゼロカーボンに関する普及啓発
- 3 自然エネルギーの有効活用と省エネルギーの推進に向けた支援
- 4 公用車、公共交通等の EV、ハイブリッド化など次世代自動車への転換に向けた設備整備の検討

## 15. 自然災害

自然災害のリスクを低減し、防災対策を強化することで、町民が安心して暮らせる安全な地域づくりを進めます。

- 1 地区ごとの防災計画の推進・支援
- 2 国県と連携した天竜川、片桐松川の治水整備推進
- 3 ため池の耐震診断、跡地利用を含む継続・廃止の検討
- 4 雨水排水計画（仮称）の策定
- 5 地域防災計画に基づく防災力の維持・強化
- 6 時代に即した消防団の在り方検討
- 7 自主防災組織の構築・運営支援による地域の自主防災力の向上
- 8 松川町森林整備計画に基づく森林の整備及び保全
- 9 非常用飲料水袋の備蓄
- 10 農業用水路の防災減災
- 11 ハザードマップの更新・配布による土砂災害警戒区域等の周知普及

## 16. 事故・犯罪

交通事故や犯罪を減少させ、安全で安心な生活環境を提供するため、地域の防犯・交通安全対策を強化します。

- 1 防犯カメラ、防犯灯の整備等による防犯対策の推進
- 2 街路灯、ゾーン 30 の設定等、歩行者の安全確保の取組
- 3 社会を明るくする運動による犯罪や非行のない地域づくりの推進
- 4 特殊詐欺対策の啓発・周知等、犯罪予防の推進

## 17. 地域とのつながり

孤独を感じる人を減らし、地域の交流機会を維持することで、つながりを深める取り組みを推進し、誰もが参加できる地域社会を実現します。来訪者にも町の魅力を知ってもらい、町を訪れてもらうことで関係人口を創出します。

- 1 リニア・三遠南信を見据えた都市間交流事業の促進
- 2 地区公民館による地域に根差した各種事業の継続支援
- 3 地域の実情にあった自治会組織の持続・再編支援
- 4 やりたいことでつながる新しいコミュニティへの支援
- 5 ふるさと納税を通じた財政基盤の強化と関係人口の創出
- 6 地域の実情にあった集落支援員の設置及び活用
- 7 地域づくり事業（重層的支援体制整備事業）
- 8 民生委員・児童委員の活動推進・支援

## 18. 多様性と寛容性

多様な価値観や背景を尊重し、誰もが居場所と役割を持つことができ、関わりあいながら共に生活できる寛容な社会を実現するための取り組みを推進します。

- 1 男女共同参画事業の推進
- 2 参加支援事業（重層的支援体制整備事業）
- 3 長野県パートナーシップ協定に基づく取組の推進

## 19. 自己効力感

自分の意見やアイデアを社会に反映できる仕組みを整え、町民が自らの力を実感できる地域づくりを進めます。

- 1 まつかわマイプロジェクト等による若者を中心とした多世代コミュニティ創出
- 2 地域の実情にあった町民提案型まちづくり事業の運用

## 20. 健康状態

住民が心身ともに健康で活力ある生活を送れるよう支援する地域づくりを進めます。

- 1 包括的相談支援事業による生活困窮者への支援（重層的支援体制整備事業）
- 2 健診結果説明会など特定保健指導の実施
- 3 生涯スポーツの推進
- 4 いのち支える松川町自殺対策基本計画による心の健康支援
- 5 自治会や企業等向けの健康学習会の開催
- 6 住民グループと連携した健康を考える集会の開催
- 7 介護予防学習会の積極推進による健康寿命の延伸
- 8 環境保全型農業と連携した食育の推進

## 21. 文化・芸術

多様な芸術家が集まり、豊かな文化財を守ることで、地域の文化・芸術を育み、町民が共に楽しめる環境を提供します。

- 1 文化協会と連携した松川町文化祭の開催支援
- 2 御柱祭等の地域の伝統芸能継承の支援
- 3 郷土料理をはじめとした食文化の継承

## 22. 教育機会の豊かさ

地域で多様な教育の選択肢を提供することで、すべての町民が学びや成長を実感できる環境を整えます。

- 1 公民館研究集会や駅伝大会・成人式等、公民館本館三部（社会部・体育部・編集部）による専門部事業の実施
- 2 まつかわ大学など各種講座の開催による住民の学習機会の提供
- 3 社会教育団体への支援

## 23. 雇用・所得

豊富な雇用機会を創出し、適正な所得を得られる環境を整えることで、町民が安心して生活できる地域経済の発展を目指します。

- 1 リニアを見据えた二拠点居住につながるシゴトづくりの促進
- 2 リニアを見据えた二次交通の検討
- 3 国道 153 号リニア北バイパスの整備推進
- 4 就業相談員を通じた職業体験の機会創出
- 5 地元企業と連携した企業説明会の在り方検討
- 6 果樹研修生制度とグリーンみらいまつかわを軸とした農業後継人材の育成
- 7 商工業の事業承継支援のための実態把握と相談先の斡旋
- 8 業種や事業規模にこだわらない時代にあった企業誘致
- 9 農村の維持に資する集落営農組織の検討
- 10 民間と連携したクリーンな栽培体系の研究
- 11 農福連携の伴走支援

## 24. 事業創造

スタートアップが活発に進む支援環境を整え、新たなビジネスの創出を促進することで、地域経済の活性化を図ります。

- 1アントレプレナーシップ教育を核とした学びのまちづくりの推進
- 2 創業支援事業や町商工業振興資金預託事業を通じたスタートアップ支援
- 3 半農半 X も含めた果樹農業研修生制度の展開



# 1. 医療・福祉

## 町の基本方針 ■■ 達成していきたい状態 ■■

町民が健康で安心して医療を受けられ、介護や福祉サービスにスムーズにアクセスできる環境を整備します。

### 想定する取組

町の主な事業	取組を所管する部署
1 下伊那赤十字病院の特色を生かした行政と連携した事業の実施	保健福祉課
2 認知症患者やその家族を地域で支える仕組みの構築(認知症総合事業)	保健福祉課
3 事業者審査の充実等、介護保険計画の適正運用	保健福祉課
4 アウトリーチ等を通じた継続的支援事業(重層的支援体制整備事業)	保健福祉課
5 多機関協働事業(重層的支援体制整備事業)	保健福祉課
6 包括的相談支援事業による障がい者の相談支援(重層的支援体制整備事業)	保健福祉課
7 特定健診の受診勧奨をはじめとした健康増進事業の実施	保健福祉課
8 放課後等デイサービスの利用支援	保健福祉課

第3部

### 成果指標 ■■ アンケートによる主観指標 ■■

	現状値 (2023)	目標値 (2028)	考え方
暮らしている地域は、医療機関が充実している	41.3	42.0	維持
私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい	59.6	59.0	維持

### 詳細について展開する関連個別計画等

- ・ 松川町地域福祉計画
- ・ 松川町障がい福祉計画 / 松川町障がい児福祉計画
- ・ 松川町介護保険計画 / 地域包括ケア計画
- ・ 松川町健康増進計画「健康まつかわ 21」
- ・ 松川町保健事業実施計画(データヘルス計画)

### ■■ ウェルビーイング指標における客観指標の KPI 測定主旨 ■■

- 医療機関へのアクセスが良く、混雑せずに診療を受けることが可能か？
- 住民は健康であるか？
- 介護・福祉施設へのアクセスがよく、混雑せず十分なサービスを受けることが可能か？





# 3. 住宅環境

## 町の基本方針 ■■ 達成していきたい状態 ■■

松川町に住み続けたい（定住）・住んでみたい（移住）住環境の実現

### 重点的に取り組むにあたっての視点

1. 松川町の強みや魅力の再認識と認知拡大
2. 多様なニーズやライフスタイルに柔軟に対応できる住環境の整備
3. 地域内外の新しい「つながり」の構築と関係性を育む場の創出

### 想定する取組

町の主な事業	取組を所管する部署
1 ターゲットごとに異なるアプローチの移住定住マーケティングの実践	まちづくり政策課
2 移住希望者のためのナビゲーターとワンストップ相談窓口の検討	まちづくり政策課
3 松川町東京事務所の設置検討	まちづくり政策課
4 空き家を活用した移住体験住宅の整備	まちづくり政策課
5 リニアでつながる都市間交流と二拠点活動の支援促進	まちづくり政策課
6 空き家対策コーディネーターの設置検討	まちづくり政策課
7 住宅リフォーム補助制度を活用した空き家改修支援	産業観光課 まちづくり政策課
8 空き家取得補助制度の検討	まちづくり政策課
9 若者定住住宅取得祝金制度の活用による定住支援	まちづくり政策課
10 地球温暖化対策事業と連携したゼロカーボン住宅取得の支援	まちづくり政策課
11 土地開発公社の活用による宅地分譲の推進	まちづくり政策課
12 シティプロモーションも含めた移住定住に関する情報発信の強化	まちづくり政策課

### 成果指標 ■■ アンケートによる主観指標 ■■

	現状値（2023）	目標値（2028）	考え方
自宅には、心地のいい居場所がある	80.0	80.0	維持
【逆】自宅の近辺では、騒音に悩まされている	72.8	72.0	維持
私の暮らしている地域では、適度な費用で住居を確保できる	51.6	53.9	上昇
私は、いま暮らしている地域にこれからも住み続けたい	78.5%	79.0%	維持

### 詳細について展開する関連個別計画等

- ・松川町地域みらい共創プラン（第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略）
- ・リニアを見据えた北部まちづくり構想
- ・長野県リニア駅近郊グランドデザイン

### ■■ ウェルビーイング指標における客観指標の KPI 測定主旨 ■■

- 適度な価格で、十分な広さの居住空間を確保できるか？



## 4. 移動・交通

### 町の基本方針 ■■ 達成していきたい状態 ■■

リニア中央新幹線や三遠南信自動車道の開通を見据え、町内外の道路網整備と公共交通の改善を推進します。

### 想定する取組

町の主な事業	取組を所管する部署
1 使える公共交通にするための仕組みづくり	まちづくり政策課
2 リニアを見据えた伊那大島駅の在り方検討と JR飯田線の活性化の促進	まちづくり政策課
3 道路網整備計画(仮称) の策定	建設水道リニア対策課
4 飯島飯田線上片桐バイパス、上片桐停車場線バイパスの整備推進	建設水道リニア対策課
5 公共交通を活用した免許返納者へのおでかけ支援	まちづくり政策課

### 成果指標 ■■ アンケートによる主観指標 ■■

	現状値 (2023)	目標値 (2028)	考え方
私の暮らしている地域では、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる	33.9	36.9	上昇
私の暮らしている地域では、道路がきちんと整備されており、どこへ行くにも移動がしやすい	-	70.0%	新規

### 詳細について展開する関連個別計画等

・ 地域公共交通計画

・ 松川町都市計画マスタープラン

### ■■ ウェルビーイング指標における客観指標の KPI 測定主旨 ■■

- 公共交通機関へのアクセスが良く、自家用車に依存し過ぎない生活は可能か？
- 通勤時間は過度な負担ではないか？



# 5. 遊び・娯楽

## 町の基本方針 ■■ 達成していきたい状態 ■■

町民や観光に訪れた人が、心身のリフレッシュや交流を楽しむため、多様な娯楽機会を提供し、誰もが気軽に楽しめる環境を整えます。

### 想定する取組

町の主な事業	取組を所管する部署
1 時代やニーズに即応する清流苑運営	産業観光課
2 健康増進、介護予防、幼児体力づくり等での活用による利用者の増加を通じたプール等施設の持続的な運営	産業観光課
3 旧松川青年の家の活用	産業観光課
4 図書館・資料館のイベントや企画展の充実	教育委員会事務局
5 公民館事業における企画の充実と、多様な社会教育活動への支援	教育委員会事務局

第3部

## 成果指標 ■■ アンケートによる主観指標 ■■

	現状値 (2023)	目標値 (2028)	考え方
私の暮らしている地域には、楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある	23.1	38.8	上昇
私の暮らしている地域には、楽しい時間を過ごせる機会や場所がある	-	70.0%	新規
私の暮らしている地域には、他の人に紹介したい場所やスポットがある	-	70.0%	新規

## 詳細について展開する関連個別計画等

### ■■ ウェルビーイング指標における客観指標の KPI 測定主旨 ■■

- 娯楽の機会が十分にあるか？

## 6. 子育て

### 町の基本方針 ■■ 達成していきたい状態 ■■

すべての子ども・若者が切れ目なく支援を受けられ、地域全体で子どもを育てる・子育てを応援する風土を醸成し、「こどもまんなか社会」の実現を目指します。

### 重点的に取り組むにあたっての視点

1. 結婚、妊娠・出産、子育ての希望が実現できる支援体制の構築
2. こども・若者の良好な生育環境の確保と切れ目のない支援
3. 健やかに成長、自立できる社会づくり

### 想定する取組

町の主な事業	取組を所管する部署
1 松川町結婚相談所やながの結婚マッチングアプリを通じた出会いのサポート	保健福祉課
2 結婚新生活支援事業による新婚世帯へのサポート	保健福祉課
3 めばえ支援・めばえ相談による妊娠を望む家庭への支援	保健福祉課
4 妊婦訪問・両親学級など、妊娠・出産・育児に係る相談や学びの支援	保健福祉課
5 乳幼児健診・相談の充実	保健福祉課
6 産後健診・産後ケア事業による出産後の母親へのサポート	保健福祉課
7 授乳・育児サポート事業、保育サポート事業などの育児支援	保健福祉課
8 出生子育て支援金・出産子育て応援給付金による経済支援	保健福祉課
9 「あそびの教室」の拡充検討など、療育事業の推進によるこどもの成長・発達支援	保健福祉課
10 保育園・学校における給食費無償化	教育委員会事務局
11 学力検定(英語) 料の補助による児童生徒の学力向上支援	教育委員会事務局
12 病児保育など保護者ニーズに対応したサービス提供体制の検討	教育委員会事務局
13 信州やまほいく認定制度による「やまほいく」を取り入れた特色ある保育園の運営	教育委員会事務局
14 幼少期(保育園・小学校低学年) における英語遊び時間の提供	教育委員会事務局
15 計画的な保育園施設・環境の整備	教育委員会事務局
16 民間活力等を活用した保育園運営の研究	教育委員会事務局
17 小学校、中学校入学時の入学祝い金の支給	教育委員会事務局
18 福祉医療の充実・推進(18歳までの子ども、ひとり親)	保健福祉課
19 児童館サービスの安定供給による保護者支援	教育委員会事務局
20 公共交通を活用した子どもの送迎支援の検討	まちづくり政策課
21 子育て支援センターおひさまのカリキュラムやイベントの充実と、立地を含めた施設再整備の検討	保健福祉課

町の主な事業	取組を所管する部署
22 こども家庭センターの体制強化及び支援の充実	保健福祉課
23 包括的相談支援事業による子ども及び子育て世代の相談支援 (重層的支援体制整備事業)	教育委員会事務局 保健福祉課
24 ブックスタートなど図書館を通じた子育て支援	教育委員会事務局 保健福祉課

成果指標 ■■ アンケートによる主観指標 ■■	現状値 (2023)	目標値 (2028)	考え方
私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い	45.5	60.0	上昇
私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる	50.1	60.0	上昇

## 詳細について展開する関連個別計画等

・松川町地域福祉計画

・松川町こども計画

### ■■ ウェルビーイング指標における客観指標のKPI測定主旨 ■■

- 子育てを支援する施設へのアクセスが良く、施設規模も適切か？



# 7. 初等・中等教育

## 町の基本方針 ■■ 達成していきたい状態 ■■

松川町教育大綱に則り、「未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち」を目指し、小中高の教育環境を整備するとともに、子どもたちが安心して学べる場を提供することで、質の高い特色ある教育を実現します。

## 重点的に取り組むにあたっての視点

1. 新しい時代を生き抜くための児童生徒の確かな学力の向上
2. 英語遊びや英語活動、国際交流などを通して、幼少期から国際感覚を養うための教育の推進
3. 松川町の自然や文化、歴史などの学習と地域の人々との関わり合いを通して、ふるさとに誇りと愛着を持つ教育の推進
4. 夢の実現に向けて何事にも主体的に取り組み、無限の可能性に挑戦するたくましい児童生徒の育成を目指す教育の推進
5. 個性や多様性を尊重し、全ての人々が互いに支え合いながら、共に生きることができる社会の実現

## 想定する取組

町の主な事業	取組を所管する部署
1 学園化構想の推進による保・小・中 12年間のシームレスな教育体系の実現	教育委員会事務局
2 フリースクールを主とした学校以外のこどもの居場所づくり	教育委員会事務局
3 サマーチャレンジ、地域未来塾など、地域と連携した児童生徒の学力向上の取組	教育委員会事務局
4 てらこや松中・しごと未来フェアによる児童生徒の学習機会・キャリア教育の拡充	教育委員会事務局
5 中学校文化クラブの運営による中学生の文化系活動の確保	教育委員会事務局
6 小学校・中学校 ALT配置強化及び「英語遊び」導入(保・小 1・2年)による英語教育の推進	教育委員会事務局
7 学びの保障に向けて子どもたちの状況や段階に応じた柔軟な支援(不登校支援)	教育委員会事務局
8 総合的な学習の時間など、地域資源を活用した小・中・高における総合的な学びの提供	教育委員会事務局 まちづくり政策課
9 計画的な町内小中学校3校の施設・環境整備	教育委員会事務局
10 地域応援組織との連携・協働による教育活動の充実	教育委員会事務局

## 成果指標 ■■ アンケートによる主観指標 ■■

現状値 (2023) 目標値 (2028) 考え方

私の暮らしている地域では、教育環境(小中高校)が整っている	46.7	50.0	上昇
私の暮らしている地域では、通学しやすい場所に学校がある	43.0	43.0	維持
周りの地域と比べて、子どもたちが特色ある教育や体験ができると思う	-	70.0%	新規
私の暮らしている地域では、学校教育に特色がある	-	70.0%	新規

## 詳細について展開する関連個別計画等

・松川町教育大綱

・松川町こども計画

## ■■ ウェルビーイング指標における客観指標の KPI 測定主旨 ■■

- 教育環境(小学校、中学校、高校)は整っているか?



# 8. 地域行政

## 町の基本方針 ■■ 達成していきたい状態 ■■

充実した持続可能な公共サービスを提供し、町民が安心して暮らせる地域行政を実現します。

### 想定する取組

町の主な事業	取組を所管する部署
1 スクラップアンドビルドの励行と将来投資効果から逆算したメリハリのある予算編成	総務課
2 収納対策強化による財政基盤の強化	住民税務課
3 住民が利用しやすい図書館・資料館の運営	教育委員会事務局
4 時代やニーズに合った鮮度の高い情報発信	まちづくり政策課
5 橋梁・トンネル・舗装の修繕維持管理によるライフラインの確保	建設水道リニア対策課
6 松川町公共下水道全体計画に基づく下水道の統廃合に向けた準備	建設水道リニア対策課
7 住民が利用しやすい社会教育施設の運営	教育委員会事務局
8 リニア発生土における運搬の安全性確保と利活用の検討	建設水道リニア対策課
9 業務における職員のコンプライアンス意識の醸成	総務課
10 地域や組織について自ら課題を発見し、行動できる職員の育成	総務課
11 老朽配水管の更新・水道施設の維持管理	建設水道リニア対策課
12 公共施設等総合管理計画に基づく維持管理	総務課

第3部

### 成果指標 ■■ アンケートによる主観指標 ■■

現状値 (2023) 目標値 (2028) 考え方

暮らしている地域の行政は、地域のことを真剣に考えていると思う	43.0	44.5	上昇
暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	45.9	48.0	上昇
私は、自分にとって必要な行政情報や町に関する情報を簡単に見たり得たりすることができる	-	70.0%	新規

### 詳細について展開する関連個別計画等

- ・ 松川町橋梁長寿命化修繕計画
- ・ 松川町トンネル長寿命化修繕計画
- ・ 松川町舗装長寿命化修繕計画
- ・ 松川町公共下水道全体計画
- ・ 松川町水道ビジョン
- ・ 水道事業アセットマネジメント
- ・ 松川町 DX推進要領
- ・ 松川町公共施設等総合管理計画

### ■■ ウェルビーイング指標における客観指標の KPI 測定主旨 ■■

- 公共サービスは充実しているか？
- 公共サービスは持続可能か？











# 13. 自然の恵み

## 町の基本方針 ■■ 達成していきたい状態 ■■

豊かな自然環境を守り、町民が自然の恵みを楽しむことができる持続可能な地域づくりを推進します。

### 想定する取組

町の主な事業	取組を所管する部署
1 およりの森の整備を通じた町民が気軽に自然と触れ合える場所の提供	産業観光課
2 環境保全型農業の推進	産業観光課
3 地域との連携による有害鳥獣対策の推進	産業観光課
4 河川等の汚濁防止による水環境などの保全	住民税務課
5 安定したきれいな水道水の供給	建設水道リニア対策課
6 農地耕作条件改善事業による地域のニーズに沿ったきめ細かな農地基盤整備	建設水道リニア対策課

## 成果指標 ■■ アンケートによる主観指標 ■■

現状値 (2023)	目標値 (2028)	考え方
------------	------------	-----

暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる	73.3	73.0	維持
暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる	74.7	74.0	維持

### 詳細について展開する関連個別計画等

- ・松川町環境基本計画
- ・松川町農業基本計画

- ・松川町水道ビジョン

## ■■ ウェルビーイング指標における客観指標の KPI 測定主旨 ■■

- 豊かな自然環境はあるか？



# 14. 環境共生

## 町の基本方針 ■■ 達成していきたい状態 ■■

地域一体となって地球温暖化防止対策と脱炭素社会の実現に取り組み、環境に配慮した持続可能な地域づくりを進めます。

### 想定する取組

町の主な事業	取組を所管する部署
1 3R運動の推進や不法投棄撲滅によるごみの適正処理及び減量	住民税務課
2 住民へのゼロカーボンに関する普及啓発	住民税務課
3 自然エネルギーの有効活用と省エネルギーの推進に向けた支援	住民税務課
4 公用車、公共交通等のEV、ハイブリッド化など次世代自動車への転換に向けた設備整備の検討	住民税務課

第3部

## 成果指標 ■■ アンケートによる主観指標 ■■

現状値 (2023) 目標値 (2028) 考え方

私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである	68.2	68.0	維持
---	------	------	----

## 詳細について展開する関連個別計画等

・ 松川町環境基本計画

・ 松川町地球温暖化防止対策実行計画

## ■■ ウェルビーイング指標における客観指標のKPI測定主旨 ■■

- 空気はきれいか？
- 地球環境への負荷が高くはないか？



# 15. 自然災害

## 町の基本方針 ■■ 達成していきたい状態 ■■

自然災害のリスクを低減し、防災対策を強化することで、町民が安心して暮らせる安全な地域づくりを進めます。

### 想定する取組

町の主な事業	取組を所管する部署
1 地区ごとの防災計画の推進・支援	総務課
2 国県と連携した天竜川、片桐松川の治水整備推進	建設水道リニア対策課
3 ため池の耐震診断、跡地利用を含む継続・廃止の検討	建設水道リニア対策課
4 雨水排水計画(仮称) の策定	建設水道リニア対策課
5 地域防災計画に基づく防災力の維持・強化	総務課
6 時代に即した消防団の在り方検討	総務課
7 自主防災組織の構築・運営支援による地域の自主防災力の向上	総務課
8 松川町森林整備計画に基づく森林の整備及び保全	産業観光課
9 非常用飲料水袋の備蓄	建設水道リニア対策課
10 農業用水路の防災減災	建設水道リニア対策課
11 ハザードマップの更新・配布による土砂災害警戒区域等の周知普及	総務課

### 成果指標 ■■ アンケートによる主観指標 ■■

現状値 (2023) 目標値 (2028) 考え方

私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている	64.2	64.0	維持
私は、災害が起きた時の備えを日ごろからしっかり行っている	-	70.0%	新規

### 詳細について展開する関連個別計画等

- ・ 松川町災害廃棄物処理計画
- ・ 松川町国土強靱化地域計画
- ・ 松川町地域防災計画
- ・ 松川町森林整備計画

### ■■ ウェルビーイング指標における客観指標の KPI 測定主旨 ■■

- 自然災害のリスクが高くはないか？
- 防災への取組や備えは充実しているか？



# 16. 事故・犯罪

## 町の基本方針 ■■ 達成していきたい状態 ■■

交通事故や犯罪を減少させ、安全で安心な生活環境を提供するため、地域の防犯・交通安全対策を強化します。

### 想定する取組

町の主な事業	取組を所管する部署
1 防犯カメラ、防犯灯の整備等による防犯対策の推進	総務課
2 街路灯、ゾーン 30の設定等、歩行者の安全確保の取組	総務課・教育委員会事務局 建設水道リニア対策課
3 社会を明るくする運動による犯罪や非行のない地域づくりの推進	保健福祉課
4 特殊詐欺対策の啓発・周知等、犯罪予防の推進	住民税務署 総務課

第3部

### 成果指標 ■■ アンケートによる主観指標 ■■

	現状値 (2023)	目標値 (2028)	考え方
私の暮らしている地域は、防犯対策(交番・街燈・防犯カメラ・住民の見守り等)が整っており、治安がよい	43.0	51.2	上昇
私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である	40.4	43.7	上昇

### 詳細について展開する関連個別計画等

#### ■■ ウェルビーイング指標における客観指標の KPI 測定主旨 ■■

- 交通事故は少ないか？
- 犯罪は少ないか？



# 17. 地域とのつながり

## 町の基本方針 ■■ 達成していきたい状態 ■■

孤独を感じる人を減らし、地域の交流機会を維持することで、つながりを深める取り組みを推進し、誰もが参加できる地域社会を実現します。来訪者にも町の魅力を知ってもらい、町を訪れてもらうことで関係人口を創出します。

## 想定する取組

町の主な事業	取組を所管する部署
1 リニア・三遠南信を見据えた都市間交流事業の促進	まちづくり政策課
2 地区公民館による地域に根差した各種事業の継続支援	教育委員会事務局
3 地域の実情にあった自治会組織の持続・再編支援	まちづくり政策課
4 やりたいことでつながる新しいコミュニティへの支援	まちづくり政策課
5 ふるさと納税を通じた財政基盤の強化と関係人口の創出	産業観光課
6 地域の実情にあった集落支援員の設置及び活用	まちづくり政策課
7 地域づくり事業(重層的支援体制整備事業)	教育委員会事務局 保健福祉課
8 民生委員・児童委員の活動推進・支援	保健福祉課

## 成果指標 ■■ アンケートによる主観指標 ■■

現状値 (2023) 目標値 (2028) 考え方

私は、同じ町内(集落)に住む人たちを信頼している	80.0	80.0	維持
私の暮らしている地域では、地域活動(自治会・地域行事・防災活動等)への市民参加が盛んである	80.0	80.0	維持
暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる	80.0	80.0	維持
私は、町内(集落)の人が困っていたら手助けをする	80.0	80.0	維持
私は、この町内(集落)に対して愛着を持っている	80.0	80.0	維持

## 詳細について展開する関連個別計画等

・松川町地域福祉計画

・松川町地域みらい共創プラン  
(第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略)

## ■■ ウェルビーイング指標における客観指標のKPI測定主旨 ■■

- 孤独を感じる人は少ないか？
- 地域の人と交流する機会があるか？
- 地域の関係人口を創出する取組みは盛んであるか？







# 20. 健康状態

## 町の基本方針 ■■ 達成してきたい状態 ■■

住民が心身ともに健康で活力ある生活を送れるよう支援する地域づくりを進めます。

### 想定する取組

町の主な事業	取組を所管する部署
1 包括的相談支援事業による生活困窮者への支援(重層的支援体制整備事業)	保健福祉課
2 健診結果説明会など特定保健指導の実施	保健福祉課
3 生涯スポーツの推進	教育委員会事務局
4 いのち支える松川町自殺対策基本計画による心の健康支援	保健福祉課
5 自治会や企業等向けの健康学習会の開催	保健福祉課
6 住民グループと連携した健康を考える集会の開催	保健福祉課
7 介護予防学習会の積極推進による健康寿命の延伸	保健福祉課
8 環境保全型農業と連携した食育の推進	保健福祉課

第3部

## 成果指標 ■■ アンケートによる主観指標 ■■

現状値 (2023) 目標値 (2028) 考え方

私は、身体的に健康な状態である	74.6	74.0	維持
私は、精神的に健康な状態である	78.6	78.0	維持

### 詳細について展開する関連個別計画等

- ・ 松川町地域福祉計画
- ・ 松川町健康増進計画「健康まっかわ 21」
- ・ 松川町保健事業実施計画(データヘルス計画)
- ・ いのち支える松川町自殺対策基本計画

## ■■ ウェルビーイング指標における客観指標の KPI 測定主旨 ■■

- 住民は健康であるか？





## 22. 教育機会の豊かさ

### 町の基本方針 ■■ 達成していきたい状態 ■■

地域で多様な教育の選択肢を提供することで、すべての町民が学びや成長を実感できる環境を整えます。

### 想定する取組

町の主な事業	取組を所管する部署
1 公民館研究集会や駅伝大会・成人式等、公民館本館三部(社会部・体育部・編集部)による専門部事業の実施	教育委員会事務局
2 まつかわ大学など各種講座の開催による住民の学習機会の提供	教育委員会事務局
3 社会教育団体への支援	教育委員会事務局

第3部

### 成果指標 ■■ アンケートによる主観指標 ■■

現状値 (2023) 目標値 (2028) 考え方

成果指標	現状値 (2023)	目標値 (2028)	考え方
私の暮らしている地域では、学びたいことを学べる機会がある	38.4	38.0	維持

### 詳細について展開する関連個別計画等

#### ■■ ウェルビーイング指標における客観指標の KPI 測定主旨 ■■

- 地域の教育水準は高く、教育の選択肢が多いか？



# 23. 雇用・所得

## 町の基本方針 ■■ 達成していきたい状態 ■■

豊富な雇用機会を創出し、適正な所得を得られる環境を整えることで、町民が安心して生活できる地域経済の発展を目指します。

### 重点的に取り組むにあたっての視点

1. 多様な働き方と産業の振興
2. 地域内の主な産業である農業と製造業の後継者支援制度や人材育成の強化
3. リニア時代を見据えた二拠点居住の推進など、柔軟な働き方を支援する仕組みの整備
4. 地域内での働きがいや職業選択の幅を広げる

### 想定する取組

町の主な事業	取組を所管する部署
1 リニアを見据えた二拠点居住につながるシゴトづくりの促進	まちづくり政策課
2 リニアを見据えた二次交通の検討	まちづくり政策課
3 国道 153号リニア北バイパスの整備推進	建設水道リニア対策課
4 就業相談員を通じた職業体験の機会創出	産業観光課
5 地元企業と連携した企業説明会の在り方検討	産業観光課
6 果樹研修生制度とグリーンみらいまつかわを軸とした農業後継人材の育成	産業観光課
7 商工業の事業承継支援のための実態把握と相談先の斡旋	産業観光課
8 業種や事業規模にこだわらない時代にあった企業誘致	産業観光課
9 農村の維持に資する集落営農組織の検討	産業観光課
10 民間と連携したクリーンな栽培体系の研究	産業観光課
11 農福連携の伴走支援	保健福祉課 産業観光課

### 成果指標 ■■ アンケートによる主観指標 ■■

	現状値 (2023)	目標値 (2028)	考え方
私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい	31.6	37.0	上昇
私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある	32.3	43.9	上昇

### 詳細について展開する関連個別計画等

- ・ 地域計画
- ・ 地域未来投資促進法における長野県南信州地域基本計画
- ・ 松川町農業基本計画
- ・ 松川町男女共同参画計画

### ■■ ウェルビーイング指標における客観指標の KPI 測定主旨 ■■

- 十分な雇用機会があるか？
- 適切な水準の所得を得られるか？





## 第 4 部

## 資料編

# 第6次松川町総合計画 成果指標一覧

成果指標は、ウェルビーイング（地域幸福度）指標における主観指標としている。

主観指標を測るためのアンケートを毎年度実施する。

アンケート設問は、**1. 標準設問** **2. 松川町独自設問（★）** を組み合わせている。

## 最上位の成果指標

<b>町民の幸福度</b>	ウェルビーイング(地域幸福度) 指標アンケートにおける主観的幸福度 (とても幸せ = 10点、とても不幸 = 0点)
<b>町民の生活満足度</b>	ウェルビーイング(地域幸福度) 指標アンケートにおける主観的生活満足度 (とても満足 = 10点、とても不満足 = 0点)

## 施策領域ごとの成果指標

施策領域	主観アンケート設問内容
<b>医療・福祉</b>	暮らしている地域は、医療機関が充実している 私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい
<b>買物・飲食</b>	暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない 私の暮らしている地域では、飲食を楽しめる場所が充実している
<b>住宅環境</b>	自宅には、心地のいい居場所がある 【逆】自宅の近辺では、騒音に悩まされている 私の暮らしている地域では、適度な費用で住居を確保できる ★私は、いま暮らしている地域にこれからも住み続けたい
<b>移動・交通</b>	私の暮らしている地域では、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる ★私の暮らしている地域では、道路がきちんと整備されており、どこへ行くにも移動がしやすい
<b>遊び・娯楽</b>	私の暮らしている地域には、楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある ★私の暮らしている地域には、楽しい時間を過ごせる機会や場所がある ★私の暮らしている地域には、他の人に紹介したい場所やスポットがある
<b>子育て</b>	私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い 私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる
<b>初等・中等教育</b>	私の暮らしている地域では、教育環境(小中高校)が整っている 私の暮らしている地域では、通学しやすい場所に学校がある ★周りの地域と比べて、子どもたちが特色ある教育や体験ができると思う ★私の暮らしている地域では、学校教育に特色がある
<b>地域行政</b>	暮らしている地域の行政は、地域のことを真剣に考えていると思う 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である ★私は、自分にとって必要な行政情報や町に関する情報を簡単に見たり得たりすることができる
<b>デジタル生活</b>	私の暮らしている地域では、行政サービスのデジタル化が進んでいる 私の暮らしている地域では、仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい

現状値 (2023)	目標値 (2028)	目標設定の考え方
6.9 (平均値)	現状維持	現状値が2023年度全国調査平均値(6.47) 以上のため現状維持
6.2 (平均値)	6.5	現状値が2023年度全国調査平均値(6.54) 以下のため全国平均値

現状値 (2023)	目標値 (2028)	目標設定の考え方	目標値の考え方
41.3	42.0	維持	小数点以下について、現状値が50未満=切上げ、50以上=切捨て
59.6	59.0	維持	小数点以下について、現状値が50未満=切上げ、50以上=切捨て
30.6	41.5	上昇	全国調査(2024)における長野県全体の値
32.8	33.0	維持	小数点以下について、現状値が50未満=切上げ、50以上=切捨て
80.0	80.0	維持	小数点以下について、現状値が50未満=切上げ、50以上=切捨て
72.8	72.0	維持	小数点以下について、現状値が50未満=切上げ、50以上=切捨て
51.6	53.9	上昇	全国調査(2024)における長野県全体の値
78.5%	79.0%	維持	現状の水準を維持する
33.9	36.9	上昇	全国調査(2024)における長野県全体の値
—	70.0%	新規	5件法回答において、5及び4の回答割合
23.1	38.8	上昇	全国調査(2024)における長野県全体の値
—	70.0%	新規	5件法回答において、5及び4の回答割合
—	70.0%	新規	5件法回答において、5及び4の回答割合
45.5	60.0	上昇	取組を強化し平均(偏差値50)以上
50.1	60.0	上昇	取組を強化し平均(偏差値50)以上
46.7	50.0	上昇	取組を強化し平均(偏差値50)まで引き上げ
43.0	43.0	維持	小数点以下について、現状値が50未満=切上げ、50以上=切捨て
—	70.0%	新規	5件法回答において、5及び4の回答割合
—	70.0%	新規	5件法回答において、5及び4の回答割合
43.0	44.5	上昇	全国調査(2024)における長野県全体の値
45.9	48.0	上昇	現状より増
—	70.0%	新規	5件法回答において、5及び4の回答割合
44.5	50.0	上昇	取組を強化し平均(偏差値50)まで引き上げ
40.9	50.0	上昇	取組を強化し平均(偏差値50)まで引き上げ

施策領域	主観アンケート設問内容
公共空間	暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい 私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある
都市景観	私の暮らしている地域には、自慢できる都市景観がある
自然景観	私の暮らしている地域には、自慢できる自然景観がある
自然の恵み	暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる 暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる
環境共生	私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである
自然災害	私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている ★私は、災害が起きた時の備えを日ごろからしっかり行っている
事故・犯罪	私の暮らしている地域は、防犯対策(交番・街灯・防犯カメラ・住民の見守り等)が整っており、治安がよい 私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である
地域とのつながり	私は、同じ町内(集落)に住む人たちを信頼している 私の暮らしている地域では、地域活動(自治会・地域行事・防災活動等)への市民参加が盛んである 暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる 私は、町内(集落)の人が困っていたら手助けをする 私は、この町内(集落)に対して愛着を持っている
多様性と寛容性	この町内(集落)には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある 私は、見知らぬ他者であっても信頼する 私は、町内(集落)の人が自分をどう思っているかが気になる 私の暮らしている地域には、女性が活躍しやすい雰囲気がある 私の暮らしている地域には、若者が活躍しやすい雰囲気がある
自己効力感	自分のことを好ましく感じる ★暮らしている地域には、自分が自己表現できる場や活躍できる場がある
健康状態	私は、身体的に健康な状態である 私は、精神的に健康な状態である
文化・芸術	暮らしている地域は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい 将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい
教育機会の豊かさ	私の暮らしている地域では、学びたいことを学べる機会がある
雇用・所得	私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい 私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある
事業創造	暮らしている地域には、新たな事に挑戦・成長するための機会がある

現状値 (2023)	目標値 (2028)	目標設定の考え方	目標値の考え方
49.6	50.0	維持	小数点以下について、現状値が 50未満 = 切上げ、50以上 = 切捨て
37.8	38.0	維持	小数点以下について、現状値が 50未満 = 切上げ、50以上 = 切捨て
33.9	34.0	維持	小数点以下について、現状値が 50未満 = 切上げ、50以上 = 切捨て
62.4	62.0	維持	小数点以下について、現状値が 50未満 = 切上げ、50以上 = 切捨て
73.3	73.0	維持	小数点以下について、現状値が 50未満 = 切上げ、50以上 = 切捨て
74.7	74.0	維持	小数点以下について、現状値が 50未満 = 切上げ、50以上 = 切捨て
68.2	68.0	維持	小数点以下について、現状値が 50未満 = 切上げ、50以上 = 切捨て
64.2 -	64.0 70.0%	維持 新規	小数点以下について、現状値が 50未満 = 切上げ、50以上 = 切捨て 5 件法回答において、5 及び 4 の回答割合
43.0	51.2	上昇	全国調査(2024) における長野県全体の値
40.4	43.7	上昇	全国調査(2024) における長野県全体の値
80.0	80.0	維持	小数点以下について、現状値が 50未満 = 切上げ、50以上 = 切捨て
80.0	80.0	維持	小数点以下について、現状値が 50未満 = 切上げ、50以上 = 切捨て
80.0	80.0	維持	小数点以下について、現状値が 50未満 = 切上げ、50以上 = 切捨て
80.0	80.0	維持	小数点以下について、現状値が 50未満 = 切上げ、50以上 = 切捨て
80.0	80.0	維持	小数点以下について、現状値が 50未満 = 切上げ、50以上 = 切捨て
55.6	55.0	維持	小数点以下について、現状値が 50未満 = 切上げ、50以上 = 切捨て
52.6	52.0	維持	小数点以下について、現状値が 50未満 = 切上げ、50以上 = 切捨て
63.0	63.0	維持	小数点以下について、現状値が 50未満 = 切上げ、50以上 = 切捨て
44.2	45.0	上昇	第 6 次男女共同参画計画と同値
47.4	48.0	上昇	全国調査(2024) における長野県全体の値以上
70.4 -	70.0 70.0%	維持 新規	小数点以下について、現状値が 50未満 = 切上げ、50以上 = 切捨て 5 件法回答において、5 及び 4 の回答割合
74.6	74.0	維持	小数点以下について、現状値が 50未満 = 切上げ、50以上 = 切捨て
78.6	78.0	維持	小数点以下について、現状値が 50未満 = 切上げ、50以上 = 切捨て
43.2	43.0	維持	小数点以下について、現状値が 50未満 = 切上げ、50以上 = 切捨て
80.0	80.0	維持	小数点以下について、現状値が 50未満 = 切上げ、50以上 = 切捨て
38.4	38.0	維持	小数点以下について、現状値が 50未満 = 切上げ、50以上 = 切捨て
31.6	37.0	上昇	第 6 次男女共同参画計画と同値
32.3	43.9	上昇	全国調査(2024) における長野県全体の値
34.4	44.5	上昇	全国調査(2024) における長野県全体の値

## 総合基本計画審議会委員名簿

	氏名	団体名	団体内での役職
会長	水野 一昭	松川町社会福祉協議会	会長
副会長	井口 由紀子	松川町教育委員会	
	米山 俊孝	松川町議会	議長 ※令和6年11月30日から
	中平 文夫	松川町議会	議長 ※令和6年11月29日まで
	松井 悦子	松川町議会	
	塩沢 貴浩	松川町議会	
	星野 光洋	松川町議会	
	松下 敏章	松川町農業委員会	会長
	細田 勉	松川町商工会	会長
	田村 健一	松川町区長会	会長
	北林 南	総合計画地域づくり会議	
	熊谷 久美	総合計画地域づくり会議	
	宮澤 俊輔	松川町消防団	団長
	山崎 隆	松川町中央公民館	館長
	笠原 俊彦	下伊那赤十字病院	事務部長
	高坂 竜夫	JA みなみ信州農業協同組合 松川支所	
	北沢 公彦	一般社団法人 南信州まつかわ観光まちづくりセンター	代表理事
	大石 明敏	公募委員	

(敬称略)

## 地域づくり会議委員名簿

池野 明理	井澤 将太	市瀬 森友	伊藤 瑞記	小川 隼人 (※)
北沢 毅	北林 南	北原 太志郎	北村 朝子	久保田 菜美子
熊谷 久美	篠田 阿依	下澤 綾子	田中 大也	中島 拓也
正井 亜樹	宮澤 由美子	柳原 猛 (※)		(敬称略 / 五十音順)

※令和6年11月29日まで

(まちづくり政策課 企画調整係)

### 事務局

氏名	氏名
松尾 天 (課長)	林 雅人
大橋 良平 (係長)	元木 ともみ

# 諮 問 書

6 松政第 40号  
令和 6 年 8 月 29日

松川町総合基本計画審議会  
会長 水野 一昭 殿

松 川 町 長 北 沢 秀 公

松川町総合基本計画審議会条例(昭和 47年条例第 2号) 第 2条の規定に基づき、下記の事項について諮問します。

記

(1) 第 6 次松川町総合計画の策定について

令和 7 年 2 月 20日

松 川 町 長 北 沢 秀 公 殿

松川町総合基本計画審議会  
会 長 水 野 一 昭

## 第 6 次松川町総合計画に関する答申

令和 6 年 8 月 29日付け 6 松政第 40号で諮問のありました第 6 次松川町総合計画について、慎重に審議した結果、適正なものと認めます。

### 第 6 次松川町総合計画 しあわせ実感まつかわ

発行年月日 / 令和 7 年 4 月

発行 / 長野県松川町

〒 399-3303 長野県下伊那郡松川町元大島 3823

編集 / まちづくり政策課、株式会社ローカルライフ

表紙デザイン / 大宮 のぞみ、北林 南

